英人 9 不法發砲事件 0 己

英國側婉曲が拒否

英總領事孙氏의回答

夕 日七月六 報 白 最新 以 報酬

遺憾可笑回表明

中央開係者量 充分の取職者・引私助の山崎連之輔氏者・訪問は「對社の山崎氏さらなら」取解的独介・の事件の襲撃(中山島の被と・大具生後)・時生込・氏一能の「合体を思うない」を解析が行う、「東京電話(図22) 政友曹華新版(四、戦敗が任明 人事者が後に発展が構造しています。

山西南端中條山脈〇三建撃

各部隊一齊行動

Ξ

0 錠

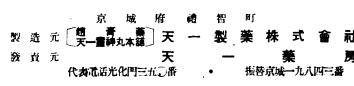
五

厚生省健康保險医療規格委員会の14 從來可 淋疾治療의 根本方法이 確立되지못한것을 奇貨星 有名無實한 0日 種類의 淋疾藥이 世上에橫 行하여 一般患者는 勿論醫師까지도 藥의 選擇上에 多大한 迷惑을 주고있는것을 기미遺城으로 생각한 厚生省健康保險醫療規格委員會에서는 淋疾의 標準藥을 决定할 必要是 痛威하고 이러專門委員에게 委 嘱하아 慎重審議한 結果 今後 淋疾治療の胎:原則的으로 [含파果트] (Sulfamid) 創書 使用하기로 決定 하였읍니다[°]

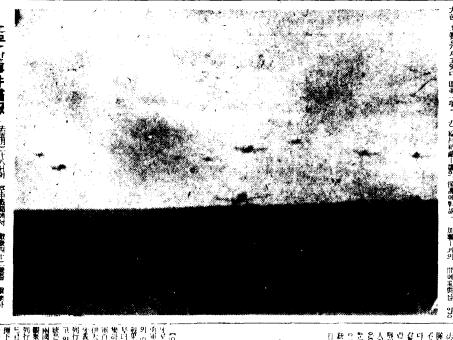
『술파밋드』 라무엇인사?

0] 次已 最近 淋疾治療界研 新機軸 3 開 拓社 化學的治淋劑量母 淋菌을 拔本塞源的 으로 捕獲하아 淋疾은 勿論 淋菌의 威染 ○皇依亞 諸疾病을 原因的○豆 根治하는世界 的驚異의 新發見이니 이것을 內服에便利州하 기爲하야 錠劑化식한것이(即, A-G 錠, 입니다

「淋疾可樂可以中」는말은 現代科學의 進步 에)화한 無智될表明하는 말이오니 藥을쓰실 때는 무엇보다도 選擇이 必要합니다。







獨伊兩國義勇軍

各各本國可凱旋

六日盛大。分列式舉行

芬蘭國防相强調

보고 하는 이 기업을 다 되는 기 같은 다 하는 이 기업을 다 되는 기업을 다 하는 이 기업을 다 보다 지원 하는 이 기업을 다 보다 지원 기업을 다 지원 기업을

ClibPDF - www.fastio.com



到**上海、一千三十、**또是五十以上의是에게도音司 挽到一志是风、突進母書与及이다。同岛 - 可沒是勿

卫召己次、疲勞、不眠、食怒不振、

身體号完全母 (保川為から)、食然不振、生健康状態引

対欧·近華商事件式會社

病弱等可障害量除去、

の人の一人の一次の過去(新聞柳東州・歌分・八十分・川 巴科蜂工工酒 《州夕春世二 杯》诗

伙

THE

勢。知識、力量共訂圓 至太明。 하나、精神的、肉體的、呼の望みに待機の姿丸、から、吾里生活の真味言言

復擊山社会的出入对不安。已 河上宫的宫台口办学

接 90年,根氣才機模以外長中:扇時四条時,果 東

學療法의完成藥の三川世界的大發明日 み오ブニの三大豆お人田 合いせい丘短時日の根治官コロ 『山中の山上世委会室の山上側』登 土側是おのや山東洋人の観覧の当時内の出まりがは、 はいまい からい からい はいまた 副作用の めの病菌のいいからかに化學療法の言えの言れれ立の合いは、 これに見去するののに習むした会正者が行いれる。 司証とのの人間でとのの人間でという人物の言葉がよいのに言いる。 洗練 注射 注入療法と覚必要の合いは 『山中の山上四香台宮の山上利』号・主剣弓からや山東洋世州呂厚生省社會保険局の村淋疾治療剤豆指定發表呂畔が五厚生省社會保険局の村淋疾治療剤豆指定發表別の大阪外側のは一級利色素剤以後、世界醫學界の村梅斯の治療 文明の進步の呼引 淋疾治療法 生進展がの2日町

見るる。今の天大田司台の引張・スプを質のいの心神疾の最新化

淋菌 宣滅殺むし 내목に大い

사람은 조직속에 살어있는

急性のロニ日내不五日에全治日臨床報告가明白か事實

般自宅治療患者是 梅毒療法の日本人

アルス薬品部 무

연도에 との人工再上 ブハミなられいにはからていたの

判かにがはの ユエガ 京大科学早の大細胞を可含な位今時では、中心で改多 が世帯の人田 東効가 二十四時間のレ게舎を 속하낫게되는바입니다

. 二 計 型 왕 성

圓圓圓圓錢錢錢 京・大等星 藥 ê 社

▼長壽法의秘訣を ▼元氣斗精力の 나는天은 胃腸の卟 ▼胃腸吐 ▼可見所重む 胃腸을 亮亮州部是秘訣은 早早かのの健康を維持整千以上又の中 ユモ「何川三기」の源泉や 胃腸のい 康や胃腸 服用하는スポ게없다 亮亮的图 早亡期可日 胃腸斗 强化小第一歩이다 બ 製 H 무섭지않다 株 ユ母旦豆胃腸の ☆胃腸樂€

健

William In Control of the Control of

東京市神田區港的三丁目 東京市神田區港的三丁目 東京 東京

でアー・・・・ 十種 三十種 五十種 一個 全当最后の 村販管が「中(814月最后 の「本館の」「815月を子 が入土権・一人のころを子







